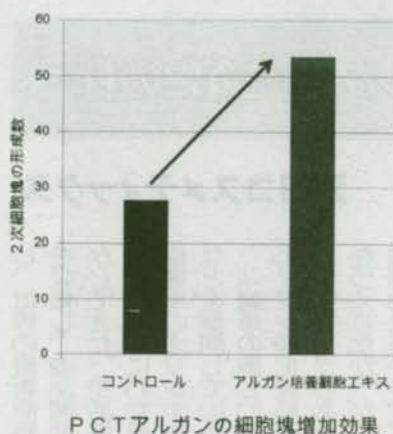


エイチ・ホルスタイン 真皮の幹細胞賦活原料を新導入 オリジナル原料の開発体制も強化

エイチ・ホルスタイン(リー社)が好評で、CIでは、真皮の幹細胞に栄養を与える世界初の化粧品原料「フィットセルテックアルガン」(スイス・クアルガン)「フィットセルテックアルガン」(スイス・クアルガン)「フィットセルテックアルガン」(スイス・クアルガン)の芽から細胞を抽出、新



芽を培養し、リポソーム化して経皮吸収性を高めている。毛包にも栄養を与えるので頭皮ケア製品にも使える」(加藤智彦)セルス&マーケティン

グ事業部マネージャー)リンゴの稀少品種の幹細胞を人工培養し、リポソーム化した「フィットセルテックマルスドメティカ」も幹細胞の賦活作用をもたらす化粧品原料として注力している。この他、ブドウ果実細胞エキス「フィットセルテックソナービティス」、

ロドデンドロンフェルギネウム葉培養細胞エキス「フィットセルテックアルプローゼ」も幹細胞に働きかける原料として提案を強化していく構えだ。「EGFやペプチドレベルの効果を植物由来の原料で得られることから化粧品メーカーより高い評価を受けている」(加藤氏)

オリジナル原料の開発体制も整えつつあり、バイオアベイラビリティを切り口に経皮吸収性を高めるスキンケア原料の研究開発を進めていく。2011年12月期は取引先のオーダーが増えたこともあり、50%増を見込む。